

物価高騰の支援策に関する予算等を審査(令和5年6月定例会)

議案:令和5年度一般会計補正予算

電力、ガス、食料品等の価格高騰により、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯と家計急変世帯に対し、1世帯当たり3万円を支給するための経費として3億5,096万8,000円、小学1年生から中学3年生までの子供を対象に1人当たり1万円を給付する千葉県の子どもの成長応援臨時給付金に加えて、本市独自の支援策として、未就学児や高校生相当年齢の方を対象に1人当たり1万円を給付するための経費として2億830万円、部

活動の地域移行に伴う経費として84万1,000円の増額となる等、補正後の総額は653億2,404万7,000円となります。

主な質疑

Q 子どもの成長応援臨時給付金の給付スケジュールは。

A 申請が不要な方は、8月上旬に通知を送付し、8月中旬に児童手当または特例給付の登録口座に振り込みを行う。また、児童手当または特例給付を受けていない等、申請が必要となる方は、8月中旬

から申請の受付を開始し、審査後、速やかに振り込みを行っていきたいと考えている。

Q 部活動地域移行モデル事業について、今回のタイミングで補正予算を計上した理由は。

A 令和4年度から、外部団体を含めた協議会を設立し協議してきたところ、一定の方向性が得られたことから、このタイミングでの予算計上となった。

所管事務:総合計画「NARITA みらいプラン」第3期基本計画の策定

令和5年度に第2期基本計画の計画期間が満了することから、市民ニーズ等を的確に把握し、第3期基本計画に活用するための市民意識調査を実施したとのことでした。また、若い世代の目線から、まちづくりに対する意見等を取り入れることを目的に、国際医療福祉大学

や空港関連企業とのワークショップ^(注1)を実施したとのことでした。

(注1)ワークショップ…参加者の主体性を重視した体験型のグループ学習、講座、研究集会等。

妊婦の初回産科受診費用の助成に関する予算等を審査(令和5年9月定例会)

議案:令和5年度一般会計補正予算

私立保育園等に対する保育業務支援システムの導入や送迎用バスへの置き去り防止装置の設置等に要する経費として264万9,000円、住民税非課税世帯等の妊婦に対して初回の産科受診費用を助成するための経費として81万円、食品価格が高騰する中、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食を提供するための経費として5,000万円の増額となる等、

補正後の総額は672億8,926万5,000円となります。

主な質疑

Q 住民税非課税世帯等の妊婦に対して初回産科受診に要した費用を助成するとのことだが、住民税非課税世帯以外で助成対象となる方は。また、対象者への周知方法は。

A 助成対象は、家計急変世帯のほか、同一世帯の親の所得によ

り課税世帯となるものの、家庭状況等により、親から経済的な援助が期待できない方等を想定している。また、周知方法は、令和5年4月^{もぎゅう}から遡及して助成するため、令和5年4月1日以降の母子健康手帳の申請者全員に対して個別に案内文を送付する。さらに、ホームページや広報なりに掲載するほか、市内医療機関にポスターを掲示し、周知を図っていく。

議案:職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

人事院規則の改正を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の対策業務を対象とした感染症作業手当に

係る規定を削除するとともに、今後、特定新型インフルエンザ等に該当する感染症が発生した場合に、

速やかに感染症作業手当の支給について措置できるよう、条例の一部を改正します。

所管事務:成田市制施行70周年記念事業

令和6年3月31日で市制施行70周年を迎えることから、節目の年を市民とともに祝う記念事業等により、市のさらなる発展を図る契機とするため、令和6年1月から12月までを実施期間として、NHK交

響楽団によるコンサートや成田山車まつりのほか、友好都市や姉妹都市から関係者を招待し記念式典を開催する等、さまざまな記念事業の実施に向けて検討を進めているとのことでした。



市制60周年で開催された記念式典